



竹林

白河市立五箇中学校だより No. 2 1

発行 令和3年9月6日
発行責任者 校長 菅野 靖



五箇中学校の3日間の臨時休業に対し、ご理解ご協力いただきありがとうございました。ご心配をおかけしましたが、感染拡大のリスクが下がりましたので、9月6日(月)に学校を再開いたしました。

五箇中学校では、9月1日(水)から9月3日(金)まで、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、学校を臨時休業しました。大変ご心配、そしてご迷惑をおかけしました。

先週の初めに、五箇中学校の生徒が新型コロナウイルスの陽性者と確認され、感染の疑いがあると思われる接触者として特定された生徒および教職員が、9月1日(水)にPCR検査を行い、9月2日(木)に受検者全員が陰性であることが確認されました。9月1日(水)と2日(木)は感染症拡大防止のために臨時休業いたしましたが、感染から1週間後に発症する事例も稀にあるとのことで、保健所の指導により陰性が確認された後の3日(金)も大事を取って臨時休業の対応を取らせていただきました。3日間の臨時休業の措置に対して、生徒の皆さんや保護者の方、地域の方々にご心配をおかけしたことをお詫びいたします。

今後も「大切な命」を守り「安全に安心して生活できる環境」づくりに努めてまいります。保護者の方々や地域の方々と共に感染の予防や感染拡大の防止に向け意識を高め対応してまいります。

もしかすると「学校は大丈夫なのか」「学校は危険じゃないのか」など不安に思っている方がおられるかもしれませんが、学校として一番に大切にしていることは、「生徒の命」そして「安全に安心して生活できる環境」です。これからも、保健所の指導の下、新型コロナウイルス感染の予防や感染拡大の防止に向けて、今まで以上に対策を徹底していきたいと思っております。ご家庭や地域の方、そして五箇幼稚園や五箇小学校での感染者も出さないように、保護者の皆さまや地域の方々で感染予防の意識を高め対応していければと思っておりますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

不可抗力による結果に対して、「感染者が出たら困る」など思いやりにかけた言動はなくしてください。罹患した方に対して、一日も早く復帰できるよう回復を願い、一緒に活動や生活ができるよう安心させてあげてください。

新型コロナウイルス感染症は、誰も経験したことがないことで、生徒の皆さんや保護者の皆さま、地域の方々も不安や心配など心を痛めさせてしまったことと思っております。だからといって「誰が悪い」とか「感染した人が悪い」とか意図的な感染ではなく不可抗力で感染してしまった結果に対して、うわさや自分本位の感情をぶつけるのは絶対に避けていただければと思っております。感染したくて感染したわけではなく、悪いのは感染者ではなく「コロナ」です。感染対策をしながらも感染してしまった人を標的にしないでください。もしも、自分が同じ立場になってしまったときは、悲しくなり、疲弊し、今後に対して絶望感に打ちひしがれると思っております。どうか、コロナに罹患してしまった方へは、思いやりと優しさをもって、一途に回復を願い、回復した時にまた一緒に生活ができるように安心させてあげるようにすることが、周りの人々がしてあげられることではないかと思っております。

「マスク着用による飛沫の拡散防止とウイルスの侵入防止」「換気によるウイルスの拡散」の徹底を図ります。

五箇地区には、様々な方々が住んでいます。これからやっていかなければならぬ事は、「感染者をださないこと」「感染をひろげないこと」だと思っております。保健所の方のお話では、『マスクによる飛沫の拡散防止とウイルスの侵入防止』と『換気によるウイルスの拡散』が特に重要になるとのことです。学校、家庭、地域で感染防止の意識を高め、思いやりをもって困難な状況を少しずつでも打開できればと思っております。「感染者を出さない」「濃厚接触者を出さない」よう、どうかご協力をよろしくお願いいたします。

また、ご家族で発熱や咳、鼻水、のどの痛みなど風邪の症状があるときには、早めに病院を受診して頂き、風邪の症状が改善されるまで、生徒や児童の登校を控えるようご協力をよろしくお願いいたします。

これからも「五箇中学校」の正常な授業と活動ができるよう努めてまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。